

札幌ろうあ老人クラブ



8月号
2024

発行者
沼沢 一夫
編集者
中根 伸一

老人クラブ ニュース

8月の行事計画表

会務報告

・北海道にはあまり「縁」が無かった「梅雨前線」はどんな雨なのか？昔のイメージは、長雨がしとしと降り続く感じだったが、最近は異常気候のせいかテレビの放送では線状降水帯などとてもない災害が起きている。テレビ放送によれば、浸水、がけ崩れ、増水、通行停止、強風、竜巻など台風のような被害を受けている。

津軽海峡を境に隔てる北海道だが、対岸の火事と無関心ではいられない。温暖化の北上によりすでに影響が出ている。寒暖差が激しくなり、高齢者にとっては、体調調整に苦労する季節です。

・特に「熱中症」。クーラーのない家の中では、屋内に居ても熱中症にかかる場合があります。また、気をつけたいのは、高血圧、めまいふらつき、心不全、認知症、脳血管疾患、高齢による衰弱、転倒による骨折、関節疾患などがあり、夏に向けて各自充分注意するようお願いいたします。

・さて、高齢者を狙う様々な詐欺事件が頻繁に起こっています。

数十年前も、東京にいたろうあ者が札幌の人と結託して、札幌のろうあ者宅に訪問し、市販より高い品物を押し売りして回ったことがありましたが、協会の役員たちが、手をまわして買わないように周知した事件がありました。

被害者が少なく済んだが、このようなことは、また、いつ起こらないとも限らないので、皆さんと連絡し合いながら、注意し合ひましょう。

ショートメールや、ラインによる「新しい方法の詐欺」にも気を付けましょう。

8月 1日	10:00~ ラジオ体操と会務報告 11:00~ 大通りピヤガーデン 希望者のみ参加	情報センター 大会議室
8月 8日	10:00~ ラジオ体操 10:30~ 戦争の体験を語る集い ① 亡き長谷川金吾さんのDVD鑑賞 ② 札幌聾話学校の戦争疎開と戦争廃校	情報センター 大会議室
8月 15日	休会	
8月 22日	10:00~ ラジオ体操と会務報告 社会生活教室 「カーリンコン」 講習会	情報センター 研修室 講師 北海道カーリンコン協会
8月 29日	10:00 ラジオ体操と会務報告 11:00~ 「老人寺子屋」 題名「健康であるために何を食べるかを考えよう」	情報センター 大会議室 とも支援

「バリアフリー」ってなあに

「バリアフリー」とは、生活の中で不便を感じる、困ること、様々な活動をするときに障壁（バリア）になっているものをなくすことです。特に障害者や高齢者をふくめたあらゆる人の社会参加を難しくしているものを除去するという意味です。例えば、聴覚障害者は、音による情報収集

が難しいため、筆談や手話などが必要です。また、盲導犬や聴導犬を連れての入店を断られるようなバリアもあります。世の中には様々な人がいることを考え、その人たちが参加しやすく社会を変えていくことが、今の時代に求められています。

T/T記

ちしき
知 識 の 泉

ご寄付ありがとうございました。

突撃インタビュー

ささや まちこ
笹谷 待子さん(62歳)

○貴女はどこで生まれ、どこで育ちましたか？

●札幌生まれで札幌育ちです。

○いつ、手話を覚えた「キッカケ」は？

●ずいぶん昔に、ろうあ者の方がお話しをしているのを見たときだと思いますが、昔過ぎて正確に覚えていません。

○どこの手話講習会とサークルで誰から習いましたか？

●厚別手輪の会で厚別区ろうあ者の方々です。

○手話認定試験でどんな資格を持っていますか。

●統一試験の資格を持っています。

○老人クラブには、いつから通い始めましたか？

●40代から通っています。

○割と古い会員ですね。印象に残っているイベントや例会の話がありますか？

●見学旅行はすべてとても楽しかったです。

○今の老人クラブは超高齢化の波がおし寄せて、会員減の危機が見えていますが、どんな対策をしたら良いか、何かご意見がありますか？

●いままでどおり、自分のできる活動をしたいと思っています。また、まわりの方々にもっと声掛けできる様にとも思っています。

○ありがとうございました。

●ありがとうございました。よろしくお願ひします。

(N記)

品名	寄付者名	金額
・銅線(1本)	佐藤 順子様	
・青い鳥ハガキ(20枚)	瀬川百合子様	1,160円
・使用済切手(169枚)	梅津喜世子様	
・青い鳥ハガキ(20枚)	前島 善也様	1,160円
・青い鳥ハガキ(20枚)	豊田 功 様	1160円
・蒼い鳥ハガキ(20枚)	豊田 晴美様	1160円
・銅線(2本)	中根 伸一様	
・切手売り上げ	北区支部様	1350円
・切手売り上げ	佐藤百合子様	1000円
・小物作品(5ヶ)	梅津喜世子様	
・小物作品売り上げ	佐藤百合子様	100円
・ポーチ作品(2ヶ)	梅津喜世子様	
・寄付金	匿名様	2,000円
・切手(84円)27枚	坂田千恵子様	2,268円
・切手売り上げ	中根 伸一様	84円
・小物売り上げ	守屋 幸子様	500円
・A4型長形封筒(100枚)	佐藤 順子様	
・		
・		
・		
・		

未記名の方は次号へ 合計 11,742円

会員・準会員募集中(あなたもぜひ)

新年度(4月1日から)の会費は年1,500円です。私たちと一緒に楽しく交流しませんか。会場は情報センターで毎週(木)10時から12時までです。

現在、今年度の会費未納者には、同封の会費請求書を入れましたので、よろしくご協力お願いします。

2024年度「会費」納入者数(6月31日現在)

会費納入者 47人

退会者 4名 会員数 57名

新入会者 3名 会員、準会員の区別なし

クイズの解答

- ① 呂 ② 品 ③ 器 ④ 叭(喇叭のば)
⑤ 叶(かなう)

札幌市社会生活教室

「ホームヘルパーの経験を通して」

今野 友子さん

6月6日、札幌協女性部役員の今野友子さんが、「ホームヘルパーってどんな仕事 ホームヘルパーの経験を通して」と題して講演されました。和裁の仕事をして17年間した後、ホームヘルパーの仕事に転職して、腰痛で辞めるまでの6年間の報告です。ホームヘルパーとは、高齢者や障害者に対して日常生活の上で、困難なことへの援助やケアをする仕事です。身体介護と生活援助があります。苦しかったことや大変なこともありましたが、やりがいのある仕事だったそうです。高齢のろう者、盲ろう者、24歳の障害女性など、特に印象に残った事例を話された。掃除や片付けをするとき、勝手に物を捨てず、捨てて良いか確認してから捨てることを教えました。男性の入浴介助の苦労やつくだ煮材料の小女子(こなご)が分からず困ったなどの体験は、なるほどと思いました。健聴のヘルパーの手におえず、何人も変えたあと、講師(今野)が担当して喜んでもらえるようになったのは素晴らしい事です。現在ヘルパーの生活援助を受けている人もおり、個人宅と施設のどちらでの生活がいいのか質問も出て、興味深い講演でした。

(T/T記)

札幌市社会生活教室 5/30

老人寺子屋→ (とも支援)

漢字の「耳へん」・「口へん」・「目へん」

今回も漢字の勉強会。耳へんは、わりと身近に使われているせいか、たくさん集まりました。特に「聴」を分解すると「耳と目そして心」の漢字が入り、目が「十」(とお)あり、身を入れて聞く様(さま)を表しているとのこと。なるほど!

「口へん」では、みんながわれ先にホワイトボードに次々と書き出したので、「目へん」は、時間切れになりました。

ある人が4つの漢字に口を入れた慣用句を書いたので驚きました。それは「阿吽(あうん)の呼吸」です。その人は、パソコンやスマホを持っておらず、いつも「辞典」を愛読しているそうです。すごいなあと思いました。

◆ではここでクイズを出します。

- 1) 口が2つ・・・の漢字は?
- 2) 口が3つ・・・の漢字は?
- 3) 口が4つ・・・の漢字は?
- 4) 口に8・・・のつく漢字は?
- 5) 口に10・・・? (回答はこのページに)

みんなで漢字一つ一つを手話で表現してみました。手話の「形」は分かっても、漢字の読み方を覚えるには尚時間が必要と思いました。(N記)

6月13日 社会見学会

北海道開拓の村見学会に同行して

厚別区にある開拓の村を見学しました。9時45分に、情報センターに集合。10時に福祉バスで出発しました。開拓の村には40分くらいで到着です。近くに住む会員の相沢さんも合流して、合計15人の参加でした。馬車が走る通りに、昔の住宅や交番、郵便局、旅館などの建物が並んでいます。商店では、何を売っていたのかなど話し合いました。映画の「ゴールデンカムイ」も、ここで撮影が行われたそうです。昔の生活で懐かしかったもの、初めて見るものなど様々で、楽しかったです。お昼は食堂で各自ラーメンやそばなどを注文して食べ、また、買い物をしました。心配な雨もほとんど降らず、暑からず、寒からず、快適な社会見学会でした。(T/T記)

通称「赤レンガ交番」と呼ばれ、南1条の創成川そばにあった。明治44年から昭和45年までの現役。↗
旧南1条巡査派出所



旧札幌駅(3代目)
昭和26年までの札幌駅の建物。開拓の村の実物は5分の4に縮小されている。→



← 明治8年、開拓使による札幌市街が開拓され「馬車鉄道」によって交通網が敷かれた。主に南区の石山から市内に軟石の運搬と乗客輸送。



耳の雑学



今回は耳に関する「諺（ことわざ）」を取り上げます。手話はどんな表現にするか研究しましょう。

・「**馬耳東風**」（ばじとうふう）と読みます。その意味は、人の話声を馬が耳をそば立てて聞き耳しますが意味が全く通じていない。つまり、いくら言い聞かせても、右から左に聞き流して行くことです。手話では、「右手人差し指で右耳を差し、左手人差し指が左耳から外にパッと抜けていく」しぐさをします。表情は涼しげにして舌を少し出す。

・「**耳をそろえて金を返す**」

この意味がよく分かりませんが、「耳」とは食パンの端と同じ意味です。江戸時代は小判の端を揃えて返すことの意味となっています。耳を切ってきてちゃんと揃えるという意味ではありません。それに対応する手話表現が見つかりませんね。しいて上げるとなれば両手でものを挟むよう➤

➤に 2 回「トントン」とやり、「整える」「整理」するの表現が見られますね。

・「**寝耳に水**」（ねみみにみず）と読みます。いきなり水が耳に入って来るという意味でなく、本来は洪水などの音を急に聞いて驚くという意味だそうです。一般には、突然の出来事や知らせにおどろく状況で使います。手話では「額のところで両手の親指と人差し指で丸めて結び、パッと強く離します。表情は目を大きく見開き、口も大きく開きます」
こんな手話は、よく見かけますね。「いきなり」とか、「突然」の表現と同じ手話になりますね。

・「**壁（かべ）に耳あり、障子に目あり**」面白い耳の活用ですね。壁に耳の絵があって、障子に目の絵があるわけでないのです。要するに二人だけのヒソヒソ話の秘密が必ず、どこかに漏れてしまう例え話です。手話表現は??あれば教えてほしい。

「ことわざ」にも耳に関するものがたくさんあります。「耳」は広い意味の言葉として使われていることがわかります。聞こえる、聞こえないに関わりないところで使われていることが改めて分かりましたね。 N 記

去る 7 月 4 日、雑草が生い茂った施設の裏庭。大勢の手で、45 分間できれいになった。



清掃前



きれいに
なったでしょう。清掃あと

清掃活動 第 2 弾 みな和気あいあいと。

身障福祉センターで 西区手輪の会と一緒に

パークゴルフ交流会(高齢部)の報告

6 月 8 日（土）、札幌協高齢部主催で、パークゴルフ交流会が開催されました。

さわやかな初夏の空の下、東区のとどーむパークゴルフ場に 11 名が集まりました。

老人クラブからは、8 名の参加でした。

18 ホール制で行われ、3 グループに分かれてコースを回ります。

丘珠空港の隣のため、打ったボールが離陸する飛行機に当たらないか心配でした。

途中で競技者の転倒事故がありましたが、幸い大事に至らず、無事終了でき、よかったです。

競技後に成績発表あり、1 位～3 位の賞品と参加賞それに飲み物が配られました。

成績は以下の通りです。

1 位 土井淳吉さん（スコア 55）

2 位 豊田功さん（スコア 62）

3 位 酒井守勝さん（スコア 63）

終了後、近くの料理店に集まり、競技の感想を語り合い、楽しい一日でした。（T/T 記）

4 年ぶりの楽しい交流会の様様。



共同清掃活動の記念に勢ぞろい

